

## 男女共同参画推進事業の点検実施に係る推進幹事会検討結果

### 【事業の課題及び解決策】

- ・ 事業参加対象者が、男女を固定する事業となっているものがある。  
→ 事業参加対象者について男女の区別をしないようにする検討を事業ごと行う。
- ・ 事業の実施にあたって、参加者への保育等のサポート配慮の達成率が低い。  
→ 事業参加者への保育等のサポート体制を市全体として横断的に整えていく。予算の問題もあるので、保育費用を一元管理できる体制をつくり、こどもセンターに登録している保育ボランティア（ファミリー・サポート・センター）を活用する。
- ・ 事業実施前及び実施後において、市民からの意見聴取（アンケート等）の達成率が低い。  
→ 事業実施前および実施後において、市民からの意見聴取を行い、行政目的の検証と市民ニーズの把握に努める。
- ・ 事業に参加した男女別人数の把握の達成率が低い。  
→ 男女ともに参加することが出来る事業であったかどうかの検証を行う意味でも、男女別の事業参加人数の把握を行う。

### 【事業点検、自己チェックに対する意見等】

- ・ 事業実施前のチェック項目の1「実施事業への参加対象者が、男女を固定するような事業になっていない。」という表現が、否定的な表現となっているので、ほかのチェック項目の表現にそろえ、「参加対象者を男女別に固定していない。」としたほうがよいのではないか。
- ・ 例えば、事業の周知期間はどれくらいあればいいのかという標準ラインが記述してあれば、自己チェックし易いのではないか。